

Berberis vulgaris バーベリー [腎臓や胆嚢の結石]

Berberis vulgaris L.

BACK GROUND

Berberis vulgarisは、ヨーロッパ、アジア、北米原産の森や石灰土壌の灌木地などに生育している、barberryと呼ばれる植物です。収斂作用や抗菌作用があります。



(1)

この植物は、直立する落葉低木で、高さは約2.5mになります。葉は長さが2～4cmの先の尖った卵円形です。花は5月と6月に、小さな黄色い花がまとまって開花します。その後、赤い豆状の実がなります。この植物は、実以外は食べると毒性をもっています。実は、かなり酸っぱいのですが、昔はジャムや漬物として食用にされていたそうです。

Berberisは、アラビア語の berberys 果物という意味に由来します。

この植物は薬用として、古代ギリシャやアラビアでは発熱の間血液を冷やし、黄疸や胃腸疾患の治療に使われました。古代エジプトでは、バーベリーの実をフェネルの種といっしょに漬けて解熱剤をつくりました。アメリカ先住民は、胃潰瘍の治療にも使用していました。アーユルヴェーダでは解毒剤や強肝剤として、漢方では下痢の薬として使われました。

Berberis vulgarisには、各種アルカロイドが含まれており、その代表的なものは、利胆作用や鎮痙作用をもつバーバリン、細胞毒性や血圧降下作用のあるバーバミン、血圧降下作用のあるマグノフロリンなどがあります。その他の成分には、 α カロチン、 β カロチン、ルテイン、ジーキサンチン、クリサンセマキサン

チン、フラボキサンチン、アウロキサンチン、カプサイシン、オキシアカンチン、レジン、タンニン、各種精油、リンゴ酸などがあります。

主なアルカロイドであるバーバリンは、他にも Hydrastis, Coptis trifolia, Argemone mexicana, Chelidonium majus, Phellodendron amurense, Mahonia aquifolia などのレメディの原料にも含まれています。

MATERIAL

小から中くらいの太さの根の皮

FIRST PROVING

Hesse (『Journal für Arzneimittellehre』第1巻, 1835)

MIND

Berberis タイプは、精神的に不活発で、無気力で、思考能力も落ちているので、物事をしっかりと覚えておくことができません。めまいがして頭が重く感じることがあります。黄昏時になると、幽霊や怪物や恐ろしい動物の幻影を見るようです。そのため暗闇を嫌がります。

夜は眠りが浅く、午前2～4時頃に目が覚めてしまうことがあります。そのため、朝の起床時に爽快感がありません。病気のときに症状が変化することがあります(痛みが不定であったり、喉が渇いたり渴かなかったりなど)。寒がりです。喉が渇きます。

AFFINITY

Berberis vulgarisは、とくに泌尿生殖器系、肝臓、皮膚、運動器系に親和性があります。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では腎臓や肝臓の臓器サポートレメディの1つとして、よく使用されます。主に低いポテンシーが使われます。ほかにも喉のポリープの治癒例などがあります。

■腎臓疾患

- ・腎臓の感染(腎臓付近の痛みがあり、尿は濃い黄色、黄褐色)
- ・腎炎: 腎臓(とくに左側)の付近に打撲様の感覚があり、深く圧迫すると痛みます。痛みはとくに左の

尿管へと広がっていきます。

- ・腎結石（痛みが腎臓から膀胱，脚にまで広がっていきます。とくに尿酸結石）

- ・腎不全

■膀胱疾患

- ・膀胱炎（焼けるような鋭い痛みが膀胱から尿道にあり，尿の色が濃い，歩いたり動くと痛みが増します。腎臓，膀胱，精巣の炎症と感染）：喉は渴いたり，渴かなかったりと変化することがあります。

- ・膀胱結石（とくに尿酸塩結石）

- ・性交疼痛症

■肝臓胆嚢疾患

- ・胆嚢結石

- ・胆嚢炎，肝胆嚢機能障害

- ・過食による消化不良

■関節，筋肉の痛み

- ・関節リウマチ，痛風，神経痛：引き裂くような突然の痛みが広がります。痛みの場所が移動することがあります。

- ・腰背部の痛み：腰から仙腸関節にかけての痛みが大腿後側部，膝，踵へと広がります。背中に泡立つような感覚や麻痺感覚，打撲様感覚などがあることがあります。

- ・多発性関節炎

- ・指の爪床の神経痛：指の関節の腫脹を伴います。

■皮膚病

- ・環状の皮膚病

- ・湿疹：とくに肛門周辺と手



(I)

- ・痔瘻

MODALITY

◀ 動くこと，歩くこと，運転すること，立ち続けること，疲労，排尿時など

RELATIONS

- ・ Complementary : Lycopodium, Sulphur, Magnesia muriatica
- ・ Antidotes : カンファー, Belladonna
- ・ Antidoted by : Camphora, Belladonna
- ・ Antidote to : Aconite

Beryllium ベリリウム Be [肺の慢性病変と慢性疲労]

Beryllium-Be

BACK GROUND

Berylliumは，原子番号4，原子量9.012182の金属です。ベリリウムは2族に属する元素ですが，アルカリ土類金属には分類されません。それは，カルシウム以下のアルカリ土類金属類とは，その性質が大きく異なるためです。ベリリウム単体は銀白色の金属結晶で，六方最密構造をとります。ベリリウムの主要鉱石は緑柱石や，ベルトラン石といったものがあり，緑柱石のうち，とくに色の優れたものは，エメラルドやアクアマリンとして珍重されています。1797年に発見され

ました。

ベリリウムは，銅に似た灰色の金属で，天然にはアイソトープの ^9Be としてのみ存在し，その化合物は2価です。ベリリウムはいくつかの独特な特性を持っています。それはすべての固体の中でもっとも軽く，化学的に安定な物質で，鉄の約6倍の剛性を持ち，非常に高い融点，比熱，融解熱，強度－重量比（strength-weight ratio）を有し，幅広い温度範囲で形状を保ちます。また，優れた電気伝導度および熱伝導度，非磁性を示します。